

國學院大學學術情報リポジトリ

國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [國學院大學大学院文学研究科] メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001558

國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

1、第1回南開大学－國學院大學大学院生学術フォーラム・

東アジア古代学学術シンポジウム

(1)準備

南開大学外国語学院の王凱専任講師が國學院大學大学院の国際交流事業短期招聘研究員として國學院大學に滞在中の6月29日(2014年)に王凱、辰巳正明教授、小川直之教授で、両大学の学術交流として大学院生の学術フォーラムの開催について打合せを行う。

以後、南開大学外国語学院、國學院大學大学院の辰巳、小川が院生学術フォーラムの開催に向けて準備を進める。

(2)「第1回南開大学－國學院大學大学院生学術フォーラム・

東アジア古代学学術シンポジウム」の開催

標記の学術交流を中国天津市の南開大学外国語学院で開催した。開催にあたっては国際交流基金(日本)の協力を得た。日程、講演・研究発表等の交流事業は下記の通りである。なお、学術フォーラムで発表を行う國學院大學大学院生6名は、大学院国際交流旅費補助を受けて参加した。

2014年10月31日(金)

辰巳・小川教授、参加院生はNH1255便・9時25分発で東京国際空港(羽田)から北京空港に出発。12時30分到着。北京空港から14時にマイクロバスで南開大学に向かう。16時40分に南開大学に到着。学内の明珠園を宿舎とする。到着後、フォーラム発表者の登録を行う。

11月1日(土) 会場 南開大学外国語学院(111教室)
9時 開会式 開会の辞
南開大学外国語学院 副院長 閻国棟教授
國學院大學 辰巳正明教授
司会 南開大学 王凱講師
9時30分 記念講演 天津師範大学 王晓平教授

「日本古写本の魅力」

- 10時40分 基調講演 國學院大學 小川直之教授
「日本における年中行事の構造」
南開大学 劉雨珍教授「日本上代文学と竹林七賢」
司会 南開大学外国語学院 韓立紅教授
- 12時 昼食
- 14時 院生学術フォーラム①（139教室）（1発表30分）
南開大学外国語学院
碩士研究生 童碧林
「天狗イメージの変遷－江戸時代を中心に」
碩士研究生 温莉莉
「江戸時代における富士講隆盛の要因に関する一考察」
國學院大學大学院文学研究科
博士課程前期 石垣絵美「疱瘡神の表象と信仰」
司会 小川直之教授
- 16時 院生学術フォーラム②（139教室）（1発表30分）
國學院大學大学院文学研究科
博士課程前期 波田尚大「竹林をめぐる伝承類型論」
博士課程後期 鈴木慶一「魂呼び儀礼の研究」
南開大学外国語学院
碩士研究生 韓鴿
「『八代集』における「うつろふ菊」の時空意識」
司会 韓立紅教授
- 17時45分 総括
韓立紅教授 小川直之教授
- 18時 歓迎レセプション
- 11月2日（日） 会場 南開大学外国語学院（139教室）
8時 院生学術フォーラム③（1発表30分）
南開大学外国語学院
博士研究生 占才成
「『古事記』序における「化熊出爪」の典拠に関する一考察」
國學院大學大学院文学研究科
博士課程後期 大谷 歩「月の船」－漢語と和語の交流－

博士課程後期 神宮咲希

「詩学と政道－大伴家持の防人関係長歌の成立－」

司会 劉雨珍教授

10 時

院生学術フォーラム④（1 発表 30 分）

國學院大學大学院文学研究科

博士課程後期 大塚千紗子

『日本靈異記』における盲目譚－古代東アジア圏の信仰と奇瑞－」

南開大学外国語学院

博士研究生 鐘薇芳

「芭蕉おける禪の影響－「風雅の誠」を中心に」

天津師範大学文學院

博士研究生 閻朝華

「大沼枕山及びその東京詞三十首について」

司会 辰巳正明教授

11 時 45 分総括

辰巳正明教授 劉雨珍教授

12 時

閉会式 大会総括 辰巳正明教授

閉会の辞 劉雨珍教授

13 時

天津博物館見学会

11 月 3 日（月）

8 時 15 分

南開大学外国語学院客員教授招聘式（111 教室）

（辰巳正明教授、小川直之教授を南開大学外国語学院
客員教授に任命）

8 時 30 分

中日文化名家論壇① 司会 劉雨珍教授

辰巳正明教授「万葉集と中国文学－大伴旅人の文学」

10 時

中日文化名家論壇② 司会 劉雨珍教授

小川直之教授「神樹と森神の信仰」

11 時 30 分

昼食

13 時～

天津古文化街などの見学会

11 月 4 日（火） 解散

辰巳・小川教授、参加院生は南開大学明珠園を 10 時に出発し、北京空港に

向かう。12時30分に到着。NH1256便・15時45分発で東京国際空港（羽田）へ。羽田空港に20時に着き、空港で解散。

2、國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との教育・

学術交流協定の締結

國學院大學と南開大学との教育・学術交流に関する協定（1997年4月21日締結）、交換留学生の派遣・受入れに関する協定（2001年4月21日締結）などによる交流、第1回南開大学－國學院大學大学院生学術フォーラム・東アジア古代学学術シンポジウム開催実績を踏まえ、國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との教育・学術交流協定を、2015年6月11日（木）に締結した。来日された南開大学外国語学院長・閻国棟教授、同副院長・焦艷婷氏、王凱専任講師は國學院大學学長と懇談された後、協定調印式に臨まれた。調印式は、國學院大學からは国際交流推進部長・田原裕子教授、大学院文学研究科幹事・根岸茂夫教授、辰巳正明名誉教授、國學院大學大学院事務課、同国際交流課職員が立ち会い、大学院文学研究科委員長・小川直之教授と南開大学外国語学院長・閻国棟教授が協定書に署名、捺印を行った。

署名・調印を行った協定書は次の通りである。

日本国・國學院大學大学院文学研究科と中華人民共和国・ 南開大学外国語学院間の教育・学術交流に関する協定書

國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院（以下「両機関」という。）は、「日本国・國學院大學と中華人民共和国・南開大学間の教育・学術交流に関する協定書」に基づき、相互の友好を深め、両機関の教育・学術交流を促進する目的のもとに、交流に関する協定を締結する。

第1条 両機関は、教員・研究者の学術研究を進展させるとともに、学生の教育研究の機会を拡大するために、相互に協力するものとする。

第2条 前条の協力は、次の事項にかかわるものとする。

- (1) 教員・研究者及び職員の相互交流
- (2) 学生の相互交流
- (3) 教育及び研究上の情報並びに資料の交換
- (4) 南開大学外国語学院「東アジア古代学研究センター」の活動
- (5) 学生・教員等による定期的な学術会議の開催

(6) 教育・学術交流成果としての学術研究誌の刊行

(7) その他、必要と思われる事項

第3条 両機関は、前条の各号に必要な事項について協議して定める。

第4条 両機関は、本協定に基づく交流事業を進めるために、担当者を定め、相互に連絡をとるものとする。

第5条 本協定は、國學院大學大学院文学研究科委員長と南開大学外国語学院長の署名によって発効し、その有効期限を4年とする。その後、両機関の合意により協定を延長することができる。

第6条 本協定の内容は、両大学の合意により改廃することができる。

第7条 本協定書は、日本語及び中国語により作成され、両大学が各1部を保管する。

國學院大學大学院

文学研究科委員長

(署名) 小川直之

2015年6月11日

南開大学外国語学院長

(署名) 閻国棟

2015年6月11日

3、第2回南開大学－國學院大學大学院生学術フォーラム・

東アジア古代学学術シンポジウム

2015年12月23日から同27日に南開大学で開催する第2回南開大学－國學院大學大学院生学術フォーラム・東アジア古代学学術シンポジウムについて、2015年4月28日から、小川直之教授と南開大学・王凱専任講師の間で具体的な協議を始め、開催準備に取りかかった。学術フォーラムで発表を行う國學院大學大学院生については、大学院文学研究科に設置された国際学術交流委員会の議を経て5名を決定し、うち4名は大学院国際交流旅費補助の申請を行い、承認された(申請を行わなかった1名は、他の国際交流事業に補助を申請した)。また、学術フォーラムに参加する教員(小川直之教授、谷口雅博准教授)の旅費は大学予算によることに決定した。

4、『東アジア文化研究』第1号の編集

協定書第2条の(6)に基づき、『東アジア文化研究』第1号の編集、刊行に向けて準備を進めた。國學院大學と南開大学の専任教員により、南開大学東アジア古代学研究センター「東アジア文化研究」編集委員会を組織し、2015

年8月31日を締切日として、第1回南開大学—國學院大學大学院生学術フォーラムでの研究発表者から論文の投稿を受けた。

編集委員は、國學院大學大学院文学研究科などから小川直之教授、谷口雅博准教授、鈴木道代助教、南開大学外国語学院から劉雨珍教授、韓立紅教授、王凱専任講師の6名で、ほかに顧問として辰巳正明國學院大學名誉教授、王曉平天津師範大学教授の2名をお願いした。編集委員会では本誌の投稿規定を策定した。

投稿論文については、編集委員ならびに顧問によって査読を行い、原稿の訂正などを経て編集作業に取りかかった。投稿論文のほか、第1回学術フォーラムで講演を行った王曉平教授、辰巳正明名誉教授に講演論文をお願いした。編集実務は小川直之、鈴木道代が担当し、鈴木道代が実務担当者となり、日本語のネイティブチェックを経て11月9日に印刷所に入稿した。なお、國學院大學側の論文の中国語要旨については、占才成、石垣絵美が日本語要旨から翻訳を行った。本誌発行についての事務は、大学院事務課が担当した。

(文責 小川直之)